

カトリック

広島教区報

No. 120

カトリック
広島司教区

発行責任者
広報担当
服部大介神父

「点訳版」あります。
お問い合わせください。

広島市中区鞆町4-42
広島司教区内
TEL (082) 221-6017

ご復活メッセージ・じゃけえのう
叙階式・召命委員会
教区百年史・司祭人事
地区・海峡からの風・J-CaRM
青少年・ひと粒

一〇三三
四〇八面
九面
十・十一面
十二面

「いのち」という賜物―

「社会へのチャレンジ」の一年目

広島教区長 アレキシオ 白浜 満 司教

主の復活の
お喜びを申し上げ、
新年度を迎えた皆さんの歩み
の上に、神様の祝福を
お祈りいたします。

*叙階の恵みへの感謝

自然界の新しいいのちが息
吹く季節の前に、二月十一日
に朴根培神学生（広島教区）
の助祭叙階式、三月一日に三



左から、久保新司祭、アルベルト新司祭、白浜司教

宅孝仁神学生（広島教区）と
シルベスタ神学生（淳心会）
の助祭叙階式、そして三月
二十日に久保裕己助祭（広島
教区）とアルベルト助祭（淳
心会）の司祭叙階式が行われ
ました。教会の霊的ないのち
に奉仕する新助祭三名と新司
祭二名の誕生の恵みを、心か
ら神様に感謝したいと思いま
す。また、司祭養成のために
祈りと献金で支えてくださっ
ている一粒会の皆さんをはじめ
め、すべての司祭、修道者、
信徒の皆さんにも、感謝をお
伝えたいと思います。広島
教区には、さらになる司祭の
召命の恵みが必要です。今後
とも青年たちへの招きや支
援を、よろしく願います。

*直面する困難のために
復活祭を迎える前から、世

主のご復活おめでとうございます

広島教区長 白浜 満 司教
司教総代理 荻喜代治 神父

教区本部事務局 平和の使徒推進本部 広島司教館	服部大介 神父 野中 泉 神父 深堀升治 神父 豊田尚臣 神父 齋藤眞仁 神父 沈 相淵 神父 荻喜代治 神父	広島地区 山口島根地区 岡山鳥取地区 広島中央協働体	(地区)長 荻喜代治 神父 (地区)長 肥塚修司 神父 (地区)長 山口道晴 神父 (職)町主任 荻喜代治 神父 (職)町主任 久保裕己 神父 (職)町協力 シルベスタ助祭 (東)広島主任 トウアン 神父 (翠)町主任 アルベルト・ベッラ神父 (呉)主任 バート 神父	西広島協働体 (観音町・三篠・廿日市) (観音)町主任 瀧井英昭 神父 (観音)町在 リカルド 神父 (三)篠主任 野中 泉 神父 (廿)日市主任 金 楡 神父	祇園協働体 (祇園・可部・三次・向原) (祇園)可部主任 清水 弘 神父 (祇園)可部助任 高山 親 神父 (三次)主任 アルナルド神父 (向原)兼務 トウアン 神父	備後協働体 (三原・尾道・福山) (三)原主任 フレデリック神父 (尾)道主任 アルナルド神父 (福)山主任 猪口大記 神父	山口協働体 (山口・地福・防府・萩) (山口)地福主任 百瀬文寛 神父 (山口)助任 カンガス 神父 (山口)助任 外川直見 神父 (山口)協力 桜井彦孝 神父 (防府)主任 林 孝 神父 (萩)主任 恩地 誠 神父	下関労働教育センター (所)長 中井 淳 神父 (協)力 林 尚志 神父 (協)力 三喜田虎太神父 (協)力 オレギ 神父 (協)力 西山和男 神父 (協)力 徳山・下松	宇部・小野田協働体 (宇部・北若山・高千帆) (主)任 片柳弘史 神父 (協)力 三喜田虎太神父 (協)力 オレギ 神父 (協)力 西山和男 神父 (協)力 徳山・下松	岩徳協働体 (岩国・光・柳井・徳山・下松) (岩)国主任 福田誠二 神父 (光)柳井主任 肥塚修司 神父 (徳)山主任 柴田 潔 神父 (下)松主任 原田豊己 神父	伯耆協働体 (松江・出雲・米子・境港) (松)江・出雲主任 金 起煥 神父 (米)子・境港主任 尹 台 神父 (石)見協働体 (津和野・益田・浜田) (主)任 山根敏尊 神父 (助)任 大西史 神父	愛徳修道士会 イエスス会 長束修道院 ヴェーメイヤー神父 ウエーメイヤー神父 曾根忠明 神父 裏辻洋二 神父 アレックス神父 河村剛 修道士 葉巻勝士 修道士 ホンテレー 修道士 牧田真一 修道士	岡山協働体 (岡山・岡山南・ロザリオ・玉野・津山) (岡山)岡山南主任 服部大介 神父 (岡山)岡山南協力 ジョン 神父 (岡山)岡山南助任 アルベルト・ジャルト神父 (岡山)岡山南協力 朴 根 助祭 (玉)野主任 西江和司 神父 (津)山主任 金 洪 神父 (倉)敷協働体 (笠岡・倉敷・玉島・水島) (笠)岡主任 ブルニ 神父 (倉)敷主任 玉島 安リ 神父 (倉)敷主任 レイモンド神父 (水)島主任 ロイ 神父
-------------------------------	---	-------------------------------------	--	--	---	---	--	---	---	--	--	--	---

界中が新型コロナウイルス感染症の大流行に見舞われ、多くの死者が出て、社会の各分野に混乱が生じています。

この感染症で亡くなられた方々、感染して苦しんでいる方々、看護に当たっている方々、感染症に関連して引き起こされた種々の困難にある人々のことを想い、この苦難を一日も早く乗り越えるために、神様の助けを願いたいと思います。また、今回の感染症の拡大予防のために、しばしば偏見や差別を伴う自己保身的な対策が取られてしまいがちです。人権の観点から行き過ぎがないよう、わたしたち一人ひとりも注意を払いながら、予防対策を強化して行きたいと思えます。

***「いのち」という神様からの賜物**

今回の深刻な状況に直面し、わたしは改めて、自然の驚異と人間の力の限界を強く感じさせられています。わたしたちの肉眼には見えないウイルスが存在し、進化し、それが増殖して、多くの人々のいのちを蝕んでいるのです。このような事態の中で、わたしたちは、大きな光となるキリストの復活をお祝いしまし

た。もし、人間の「いのち」がこの地上で終わってしまう一時的なものなら、その「はかなさ」ゆえに、わたしたちは希望を失ってしまいます。しかし、キリストは苦難を受け、十字架上でご自分の使命を全うされた後、この世のいのちから永遠のいのちへ過ぎ越されたのです。日本の教会は、この「過ぎ越し」を「復活」という言葉で表現しています。神の愛とその力に支えられて、人間のいのちは永遠のいのちの神秘へと導かれていくのです。「いのち」はまさに何ものにも代えがたい「賜物」なのです。しかし、もし、わたしたちが神様との関係を断ち切ってしまうなら、「いのちは賜物・神秘」ではなく、「はかない一時的なもの」という生物学的な理解に陥ってしまいます。

***危険な心の態度（不従順）**

創世記二〜三章の失楽園の物語は、「神との親しさの中で生かされる人間のいのち」が守られるために、次のように教えています。「主なる神は、人に命じて言われた。『園のすべての木から取って食べなさい。ただし、善悪の知識の木からは、決して食べ

てはならない。食べると必ず死んでしまう』（創世記二・十六〜十七）。ところが、人祖はその禁止命令を自由の束縛であるかのように錯覚し、「自己中心的ないのち」を選択させる心の態度（不従順）を拡大させて、神との交わりを断ち切るという死の不幸を招いてしまったのです。

***信仰という恵み**

神から離れて生きることには、「賜物であるいのちの神秘」を見失わせる危険な心の態度です。このような神への不従順が、人間の歴史の中で、知らず知らずのうちに蔓延してしまいました。この心の態度に打ち勝つワクチンこそ、「へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで」（フィリピ二・八）、父である神のみ心に従順であられたキリストへの信仰という恵みです。神への従順という信仰の態度は、決して自由の束縛ではなく、むしろ自由の強化をもたらす恵みです。

***教区代表者会議という健康診断の準備**

「信仰というワクチン」を注入していただいたわたした



「じゃけえのう」とは広島弁で「だからね」という意味。

私が勤務する福山暁の星学院の先生方数名と、昨年末にフランス、ポードランドを訪問しました。目的は福山暁の星学院の設立母体である援助マリア会の本部を訪問し創立当初のシスターに面会すること、そしてポードランドのアウシュヴィッツを見学することでした。

パリ郊外の老人施設にそのシスターはおられました。御歳九十八歳！日本に來られたときは二十七歳だったとのこと。全く見知らぬ土地でシスターが学校を開校することの困難さは、筆舌に尽くしがたいものがあつたでしょう。しかしこのシスターが流暢な日本語で言われたのは、日本人、特に保護者からの信頼と協力があつたからこそ

暁の星は成長できたのだと。視力が衰えぼんやりとしか見えない目で、「暁の星のために毎日祈っています！」という力強い言葉に涙を流す先生もおられ、一同大いに勇気づけられました。

アウシュヴィッツを訪問したのは十二月二十九日。氷点下で雪が舞い散るとんよりとした天候の中、本で知っていた状況と

は全く違った重々しい雰囲気と言葉も発することができず、ただただ遺された物を目に焼き付けていくのが精一杯でした。たった三年の間にここで百万人もの人が殺されていったという事実は、人間がそこまで常軌を逸することがあることを認めざるを得ないものでした。ただコルベ神父様が餓死刑に処せられた部屋の前に立つたときには、その対極にある人間の尊厳を感じ、カトリックの価値観に改めて希望を持つことができました。

カトリック校には、普段教会では見ることがないような多くの若者がいます。昔と違い、今では信者の児童生徒は極く少数ですが、カトリックの価値観をこうした多くの若者に伝えていく大きな使命とチャンスがカトリック校にはあります。創立当時の宣教師の崇高な情熱に共感し、平和な世の中の実現を若者に託すために、カトリック校の教職員、私たち信徒や教会のできることはまだまだあると感じた年末の旅でした。

（福山暁の星学院 理事長 田中 靖）

ちは、教区の体質を点検し、その改善をはかるために、今年、教区代表者会議という十年ぶりの診断のときを迎えます。その準備として実施されたアンケートへの回答と、第一段階となる地区ごとの分析作業のご協力に対して、宣教会・修道会の皆さん、すべての小教区の信者の皆さん、地区の事務局のスタッフに、心から感謝申し上げます。現在は、教区代表者会議準備事務局のスタッフにより、地区ごとの分析結果をいくつかのテーマに分類し、提言化する作業が続けられています。教区、地区、小教区という、どの次元で取り組んでいく事柄なのかという識別・整理も必要です。これらのテーマは、教区代表者会議の分科会で取り扱われるテーマになって行くのですが、その途上で、これらの提言が皆さんのもとにフィードバックされ、ご意見をお寄せいただく機会が設けられることになっています。そして、教区代表者会議で司教に答申する最終的な提言として練り上げられていく運びです。

***教区創立百周年に向けて**
広島教区は、二〇二三年に

教区創立百周年という重要な節目の時を迎えます。そして、そこへ向かう準備段階の歩みそのものが、ふさわしく百周年を祝うことに繋がっていくのです。「社会へのチャレンジ」という教会の根本的な使命のために、教区の体質の改善・強化を図る有益な機会となるよう、今年の十一月二十三日に開催される教区代表者会議に向けて、わたしたちの力を結集して行きたいと思えます。

***社会へのチャレンジの基本的な態度**

これまで広島教区では、宣教司牧のテーマが三年毎に設定され、二〇二〇年四月〜二〇二三年三月までは、「社会へのチャレンジ」という標語に要約されています。さらに、一年毎に「いのち」↓「環境」↓「平和」という副題も付けられています。社会にチャレンジするとは、「いのち」・「環境」・「平和」のどの分野においても、「与えられた賜物である」という神秘性を見出して、神・自然・隣人との交わりを回復させてくれる「信仰というワクチン（恵み）」の存在と効果を得、社会に提示することでは

ないでしょうか。この社会へのチャレンジは、教会が神の恵みによってつねに新たにされるながら、社会に福音の種を蒔き、その芽を育て、開花させて、社会を福音化していく、教会の根本的な使命そのものです。

***聖母マリアの取り次ぎを願いつつ**

キリストの復活を祝う喜びの日々は、五月の聖母月へ続いて行きます。「死に打ち勝

ついのちの福音をすべての人にもたらすために」、教会は聖母マリアを「新しい福音宣教の星」と仰ぎ、その取り次ぎを願うことを大切にしていきます。二〇一三年十一月に教皇フランシスコが公布した『福音の喜び』の結び（二八七）に提示されている祈りを抜粋・要約して、「教区代表者会議」の準備に励むわたしたちの祈りとしたいと思えます。

母なるおとめマリアよ、
あなたは聖霊に促され、
永遠なるかたに、ご自分を完全にゆだねられました。
わたしたちも「はい」といえるよう助けてください。

洗礼の恵みによって新たにされた者として、
わたしたちに今、新しい熱意を与えてください。
死に打ち勝ついのちの福音をすべての人にもたらすために。
わたしたちに新たな道を探す真の勇気を与えてください。

新しい福音宣教の星よ、
あかしをもって輝くことができるよう助けてください。
福音の喜びを地の果てにまで届けるために。
いのちをもたらす福音の母よ、
わたしたちのために祈ってください。
アーメン。アレルヤ。

- *お知らせ**
- ① 「国際パックス・クリステイ」世界大会の延期（五月）
前回の教区報でお知らせしていた五月中旬に広島で開催予定だった同世界大会が、新型コロナウイルス感染症の大流行に伴ない、来年の五月に延期される運びとなりました。引き続き、広島での開催を目指して準備が進められます。
 - ② 「すべてのいのちを守るための月間」
同じく、前回の教区報でお知らせしていた、同月間は、毎年、九月一日から十月四日（アッシジの聖フランシスコの記念日）までの期間に設定されることになりました。今年から始められることとなります。

**聖書通読・写経・教会巡礼
キャンペーン完了者紹介**

写経を完了された方
第0008号
柳原久美子様（廿日市教会）
第0009号
熊谷美登里様（廿日市教会）
第0010号
浜田 艶子様（祇園教会）
通読・写経・教会巡礼キャンペーンに
皆さんもご参加ください。

二人の新司祭、 三人の新助祭が誕生

新型コロナウイルス大流行の状況に、三つの叙階式実施の判断が右往左往した。教区内に感染者が発生したため、規模の縮小など急な変更も余儀なくされたが、皆さまからのご理解とご協力をいただき、無事に三人の助祭と二人の司祭が叙階の恵みを受けることができた。

三月二十日の司祭叙階式では、遠方から大型バスでの参加を見合わせていただき、マスクの着用、聖堂入口での除菌作業など様々なご協力をいただいた。式後に予定されていた祝賀会は中止となった。またアルベルト・ジャルト新司祭（淳心会）のご家族は、インドネシアから来日できなかったが、新司祭たちから感謝の気持ちをこめて、久保裕己新司祭の出身地・鹿児島で準備されたシスター手作りのお菓子とドリンドの手土産が配られた。いつもと少し様子の違う叙階式となったが、マスク越しでも笑顔が伝わる喜びの一日だった。



司祭叙階式の様子（世界平和記念聖堂）

司祭叙階の恵みを受けて

久保 裕己 新司祭
(広島教区)



この度、白浜司教様の司式によって司祭に叙階していただきましたこと、心から感謝いたしております。司祭叙階が多くの方々の祈りによって支えられていることに、ただただ感動と感謝の思いがこみ上げるばかりです。

私は司祭叙階に至るまでもとても長い回り道をして参りました。最初に召命の道を目指した時から既に十九年を迎えております。長い長い歩みの中で何度も挫折を味わい、自信を失い、諦めるという考えが頭をよぎったものです。しかしそれでも多くの方々、特に聖血礼拝会のシスター方には私の十九年間を通じて常に力強く祈り続けてくださいました。その実りであるように、神様は困難に会う度に様々な人を通じて勇気を振り絞るきっかけを与えてくださいました。司祭職の喜びが今

与えられているという事は全ての苦しみや補って余りあるものだと感じています。

そんな遠回りをしてきた私ですが、決して無駄な歩みを続けていたとは思いません。多くの困難は私に必要だったのでしょう。様々な試練は私に様々なことを学ばせてくれました。何よりも多くの方々の祈りが私には必要だった。それほどまでに愛される恵みが必要であり、その愛を受けたのだと思っております。

さて、叙階式を迎えるにあたってイエズス会の下関労働教育センターで叙階前黙想を行い、林尚志神父様に指導していただいていた時、これからの私の司祭像に関して様々なことを黙想していました。司祭とは何なのか、司祭とはどのような生きべきなのか、司祭生活で最も気を付けなければならない事は何か等、しかし、何も具体的な答えを見出すには至りませんでした。そんな不安の中で司祭



新司祭と司祭団

に叙階していただいたのですが、私の過去を振り返れば振り返るほどに、その不安は消えてゆくのです。十九年間も私を導き、共に歩んでくださったイエズス様が、私が司祭になったからといって急に離れるはずがない。今まで、どんな時もイエズス様が共にいてくださったのだから、これからもずっと共にいてくださるという信頼だけが私を司祭として歩ませてくださることでしよう。

共に歩んでくださるイエズス様と一緒に司祭職に努めていく、これが私の歩む道なのだ



新司祭として共にミサを捧げた

と。イエス様が共に歩んでくださるのだから、私はその愛に満ちた恵みの業に専念するだけです。それは司祭にしか出来ない事、司祭のアイデンティティともいえる秘跡の執行者としての姿を徹底的に追い求めていくことです。司祭に叙階されると多くの仕事に振り回されるかもしれません。でも、こと秘跡に関しては決して妥協せず、必要な時と場所にいつでも向かい、常に全身全霊で秘跡の執行者でありたいと願うばかりです。イエス様がこの私の手足を使い、愛の業を広めようとしておられる、イエス様の恵みの道具として司祭職を生全うできますように。

最後に、この紙面を通じてお願いいたします。広島教区

には後に続く多くの神学生や助祭がいます。どうか召命の道を歩み続ける彼らの為にも特別にお祈りください。お祈りだけではなく、声を掛けてあげてください。励ましてあげてください。時には美味しいものを御馳走してあげてください。これからは彼らが未来の秘跡の執行者になるのです。神学生がいなくなると未来の司祭も存在しません。皆様が秘跡に預かる機会が少なくなってしまうのです。多くの人々にキリストの愛の業を広めるためにも皆様の協力が必要なのです。よろしくお願ひいたします。

感謝のうちに

アルベルト・ジャルト 新司祭 (淳心会)



私にとって召命は、神様と歩む長い道のりでした。最初は、神父になることは夢にすぎませんでした。しかし、この司祭叙階に向けて神様が私に計り知れないお恵みをくださったお陰でその夢が叶いま

した。

今日、司祭になることは、私が一步前進したことではない、とわかっていきます。神様だけが終わりをご存じである、人生の長い旅において、新しい章に入ったということですから。私は、この召命を与えてくださった神様に、そして私を仲間に加えてくださった淳心会に、心から感謝いたします。

人間は弱く、私は一人で歩むことはできません。これまで私が挫折し、希望をなくした時、私を力づけてくださる周りの人たちの助けがいつも必要でした。大きな愛と祈りで私を支え続けた私の両親と兄弟姉妹、親戚、そして淳心会の神父様方、友人、信徒の皆様、すべての人たちにお礼を申し上げたいと思います。そのお礼のしるしとして、私にできるただ一つのことは祈ることです。皆様の上に、神様のお恵みが常にありますように。本当にありがとうございます。

召命の種を蒔いてください

三篠教会・召命学校スタッフ

伊藤 加恵

久保さん！（あつ、もう神

父様とお呼びしなくてはいけないですね。司祭叙階、おめでとうございませう。きつと、何年かたつたら、こんなことがあった年だったねえ、と語り草になるでしょうが、コロナウイルスの影響で叙階式が延期になりました。ひやひやしていました。

神父様が広島教区に来られたころ「三篠教会の子どもたちの教会学校に来てくださいますせんか？」とお願ひしたら、すぐに「もちろん」とお返事くださって、子どもたちのために風船をたくさん持ってきてくださったのをよく覚えていています。

神父様の印象はその頃からからずと、みんなの話をよく聞いてくださる、ということとです。

ある時、私が神父様に「辛抱強いですね。」と言ったら、笑いながら「そうじゃないか。笑いながら」とこの道やめていきます。」と言われたのを、覚えておられますか？これからの道も、きつと辛抱だらけかもしれません、力強く歩んでいかれますよう、お祈りしています。

神父様と召命学校、練成会、中プロなどを通して一緒にすごした子供たちの中に



歓迎のあいさつ

心から祈り応援しています

倉敷教会 岡野 敏郎

本当に、本当に、おめでとうございます！そして、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

アルベルト・ジャルトさん 司祭叙階おめでとうございます。これからの日本での活躍を楽しみにしております。二〇二〇年の司祭叙階式は、私たちの記憶に深く刻まれる



2人の新司祭

こととなりました。三月になり新型コロナウイルス感染症が全世界を席巻しています。感染予防のため、人が集まるイベントなどが次々に中止や延期をされ、ミサを中止する教会が出る中での新司祭誕生でした。二〇一八年十二月七日に倉敷に神学生として来られて、助祭叙階。今日までの一年四か月余り倉敷市内の水島・玉島・倉敷の三教会に関わって下さいました。ご本人は、日本語をわかりやすく上手に話され、とても優しく温厚な方です。教会のパーティーでは、ピアノ演奏を披露したこともあります。是非、三教会の多くの信者で祝いしたかったのですが、大型バスの参加は断念せざるを得ませんでした。また、彼の母国は、インドネシアです。倉敷教会などにはインドネシアの若者が数人来てお

り、相談相手として頼りにされています。日頃拝見している姿から、素晴らしい司祭になることは確信しています。倉敷から離れるのは残念ですが、皆で心から祈り応援しています。フレーフレー、アルベルト

おめでとうございます

呉教会 諫山 愛子

久保助祭の司祭叙階は、二年近く共に過ごした呉教会の信徒にとって大きな喜びです。

初めてお会いした時はまだ神学生で、大きな声と満面の笑みが印象的でした。そして神学生にしては落ち着いていると感じました。

フィリピンの神学校におられたため、英語が上手で、外国籍の方々から、とても頼りにされていました。

教会学校では、神様のことやお祈りについて教えてくださる先生であり、時には思いきり遊んでくれるお兄さんのような存在で、子ども達から慕われていました。

西日本豪雨災害の時には災害ボランティアサポートセンターの立ち上げから運営まで中心となって働き、大変ご苦

労されたようですが、被災地のために喜んで奉仕する姿が印象的でした。

司祭を志してからこれまで、長い年月を経てこられたと伺いました。(神学生としては落ち着いていたのはそのせいかと納得しました)その道のりについて「遠回りしてきたが、なりたいたいという強い思いは私のものではない、神様から与えられたもの」と言われました。神様から決して諦めない強い心をいただいた久保助祭はきつと素晴らしい神父様になると思います。これからのご活躍を期待しています。

久保新司祭に思うこと

岡山南教会 山村 枝光

*初めての出会い

岡山教会に赴任され私達の南教会にも来られるようになり、ミサ中に助祭として働かれ、特にミサ中の説教は子ども達にも判りやすく、丁寧、そしてユーモアと例えを交え話してくださいます。月何回かの集会祭儀と、子ども達の

堅信準備の要理勉強指導と、ミサ後の信徒との分かち合いにも積極的に参加され、いつも和やかに信徒が疑問に思う



参列した会衆

ことに答え、日常生活の出来事なども話してくださいました。

*久保裕己司祭誕生おめでとうございます。

ご両親が大事にお育てになった息子さんが司祭職を希望し果敢に挑戦し掴み取る様を見て、感慨深いものがあるのではないのでしょうか。そして、これからの活躍と健康を祈る日々が続くのではないのでしょうか。私達信徒は送り出されたご両親ご家族に感謝、感謝、感謝なのです。そして、私達信徒も健康と活躍を祈り続け教会共同体を通して生涯を共にするので

話他突然変わりますが、住んでいる近くに工事の橋があり、橋脚はすでに完成し今、鋼製桁を繋いでいます。

数百メートルある対岸両端から一ピース数拾トンもある鋼製桁を数日本のボルトで繋ぎ残り中央のピースをセットして、一本の桁となった。最初に据える両岸の一ピースがどれほど重要か素人も判る。設置場所が一センチ、高さ、水平角・仰角が狂えば中央で交わらない。全てが一致し作業が順調でなければ、安心安全が保たれないでしょう。

人を獲る、守る、教えを説く、人と交わる仕事は特に難しいと言われていますが寸分違わずまた工程通に運ばなくともよいのですから、気持ちに余裕を持って望んでくださいらばと思います。

人は、柔軟です。ただ時間が必要です。少女のことは何でもありません。困難なことは時間がたてば少なからず解消してゆきます。小教区ではその人のタレントを見極めてください。私達信徒に今まで以上に寄り添って励まして下さい。高齢化と少子化が進んでいる今、若さと力と気力と笑顔を与えてください。

毎週日曜日の楽しい説教をこれからも期待しています。

*子ども達のおめでとうコメント

子ども①久保助祭さんへ堅



朴助祭の叙階式 観音町教会

***再度、久保裕己神父誕生お**

信の勉強を教えてください。有難うございました。神父になるの おめでとうございませう。これからも宜しくお願いします。
子ども②久保助祭さんへ勉強を教えてください。有難うございました。
子ども③久保助祭さんへおめでとうございませう。堅信の時に勉強を教えてください。有難うございませう。これからも宜しくお願いします。
子ども④久保助祭さんへ何時も解りやすく勉強を教えてください。有難うございませう。あと神父様になるの おめでとうございませう。これからもいろいろなことを教えてください。

この二月十一日に助祭叙階を頂いた使徒ヨハネ朴根培助祭でございます。私に助祭職をお許しくくださったイエス様と司教様に心から感謝申し上げます。そして、私の助祭叙階式にお祝いに来てくださった多くの神父様と信者の方々に感謝の言葉をお伝えたいです。また、私の出身教会である観音町教会の主任神父様と信者の方々に深く感謝申し上げます。特に観音町教会の助祭叙階式委員会の委員お一人お一人にご感謝の言葉を申しあげたいと思います。今まで足りない私に示してくださった司教様と神父様、信者の方々の暖かい愛に報い



感謝の気持ちでいっぱいです
朴 根培 新助祭
(広島教区)

めです。この度の司祭叙階が、あなたの召命の帰結になればと願っています。今後とも宜しく小教区のお付き合いをお願い致します。

三月一日、倉敷教会において助祭叙階式が行われました。新型コロナウイルスが広がっている状況の中、叙階式には二百名を超える方が集まってくれました。ありがとうございます。司祭召命を感じ、神学生になり、七年が経ちました。それまでの人生では大きな変化を感じることには無かったので、神学院に入学してからは、それまでが嘘のように、様々なことが身の回りで起こりました。特に、入学や復学のタイミングに身内の不幸が重なった時などは、本当にこの道を進んでいてよいのかと悩みました。このことは未だに、自分の中で全てを消化しきれず、司祭召命の道は、助祭叙階の



助祭叙階の恵みを受けて
三宅 仁孝 新助祭
(広島教区)

るために、もっと謙虚な気持ちで祈りながら生きていきたいと思えます。

今日は神様の愛と慈しみによって、私達は助祭叙階の恵みを受けてから今日に至るまで、私達と共にいて、導いて下さった神様に感謝致します。そして、新型コロナウイルスの騒ぎの中で、この助祭叙階の恵みを授けて下さった白浜司教様に感謝したいと思います。また、いつも神様の愛のあ



神様の子どもとして
シルベスタ 新助祭
(淳心会)

恵みを受けるところまで進みました。神様の恵みの中で、また司教様をはじめとした教区の神父様方、そして信徒の皆様に見守られ、支えられてきたからこそ、ここまでこられたのだと思います。これからは、今まで以上に、祈りと奉仕を行う中で、神様の望みを実践していきたいらと思えます。今後とも、皆様の祈りとご支援をよろしくお願い致します。

広島教区の神学生は、教区内の教会出身者と教区外からの出身者がいる。教区外からの神学生には、教区内に「お世話



三宅助祭、シルベスタ助祭の叙階式 倉敷教会

2020年3月19日

全国の信者の皆様

広島教区 司教 白浜 満
津和野教会 主任司祭 山根敏身

5月3日 津和野・乙女峠まつりの中止について

＋主の平和

春分の日を前に、温かい陽気が感じられるこの頃ですが、お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、世界的大流行という事態になった新型コロナウイルス感染の予防のために、今年5月3日に予定されていた津和野・乙女峠まつり（前夜祭を含めて）を、今年は中止させていただくことになりました。参加を検討し、すでに諸準備をしておられた皆様に、心よりお詫び申し上げます。本当に申し訳ありません。

広島教区では、皆様の声望に応えるべく、津和野の証し人の列聖の第一段階である列福調査のため、毎月、委員会を開催して申請の準備をおこなっています。一日も早い列福・列聖のために、今後とも、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

教会の保護者である聖ヨセフの祭日に当たり、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束のために、皆様と心を合わせて、聖ヨセフと聖マリアの取り次ぎを願いたいと思います。

「教会」があり、神学院の休暇などで帰る場所でもある。信徒の皆さまに長い神学生生活を見守り、また様々な面で支えていただいていることから、以前は司教座聖堂で執り行われていた助祭叙階式を、出身教会やお世話教会で行うことが多くなってきた。

二月十一日に韓国出身の朴根培神学生がお世話教会の観音町教会で、三月一日には三宅仁孝神学生が出身の倉敷教会で、シルベスタ神学生（淳心会）と一緒に助祭に叙階された。助祭叙階式は、ミサの典礼以外は基本的にその該当

教会にすべてをお任せしている。滅多にないことなので、どの教会にとっても準備がとて大変にもかかわらず、「うちの子の…」の気持ちで一丸となって取り組んでいたに感謝申し上げます。

観音町教会では、日ごろからの炊き出しの経験を活かした具沢山の豚汁をはじめ、机いっぱいのおもてなし料理が並んだ。早朝にも関わらず、係りの皆さまが和気あいあいと楽しそうに準備されていたので嬉しく思った。

長年、淳心会の司牧実習教会である倉敷教会は、助祭叙階式の経験が豊富である。今回、感染防止の観点から急にパーティが中止になっても、参加者に手作り弁当のお土産を準備するなど、臨機応変に対応してくださった。「慣れているから大丈夫ですよ。」の言葉も心強かった。

叙階式でそれぞれ準備に携わってくださった皆さま、本当にありがとうございました。広島教区の神学生は現在四名。出身教会、お世話教会の皆さま！「その時」が来ましたら、どうぞよろしくお願ひいたします。（編集部）

「召し出し」 召命学校 ミカエル金起煥神父

二月二十三日から二十四日にかけて十代クラスの召命学校がありました。十八名の大切な青少年たちが参加して幟町の聖母幼稚園のラサール館に集まりました。

「召し出し」に答えるものとして、司教座聖堂の内陣に上り、祭壇を囲んでミサをささげることができました。



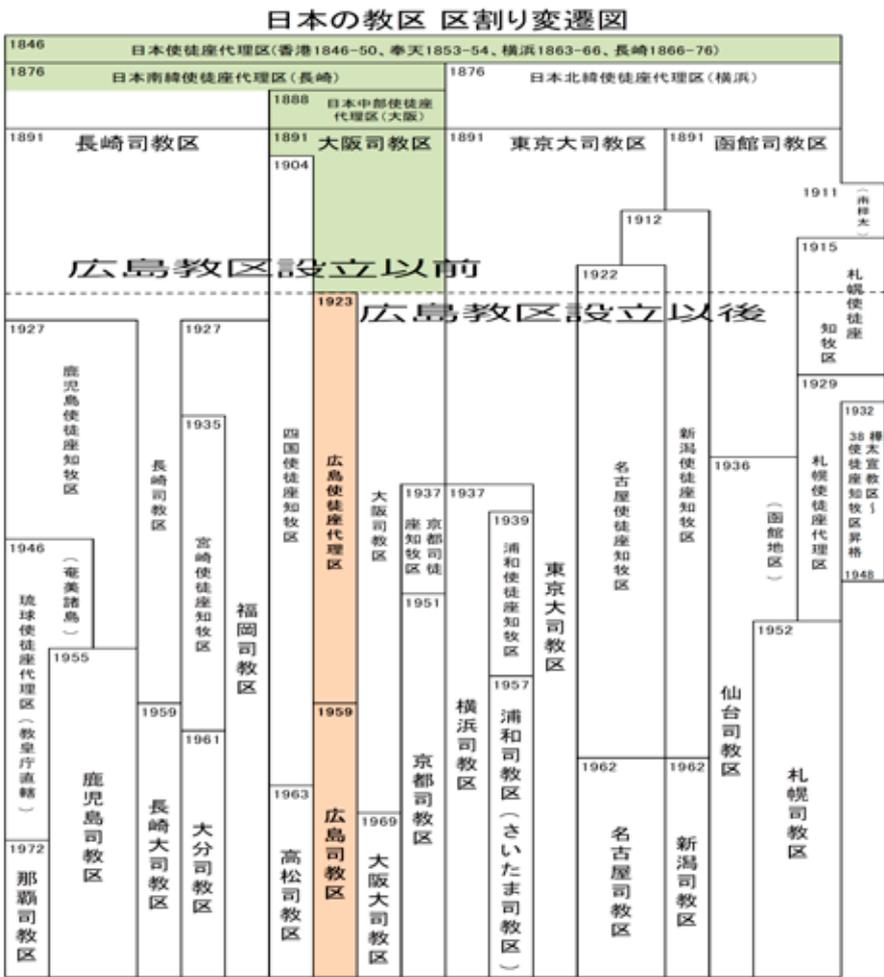
世界平和記念聖堂の祭壇前で

初日は、広島教区の三人の神学生たちの召し出しについての話しを聞き、神様の呼び出しへ答えることを一緒に考える良い時間になりました。夜にはテーブルでお祈りの中で留まる体験もしました。簡潔なお祈りの歌詞を繰り返しながら声をどんどん張って神様に向かって心を開くこと、その開かれた心の中へ神様の声はまだ満たされることを感じました。

世界平和記念聖堂の祭壇前で

広島教区百年の
歩みをたどる
(1)

明治期の本州西部への宣
教活動再開は、一八六八年
の兵庫・大阪開港の後、外
人居留地内から。その後中
国地方再宣教は一八八〇年
の岡山から始まった。掲載
の図は、日本の十六教区が
どのようにして出来上がった



ていったかを示している。
特に広島以外の教区に疎い
私たちは、設立以前からの
教区の変遷は興味を持って
見て頂けることと思う。
広島教区設立以前の中国
地方の司牧は、パリ外国
宣教会が担っていたが、
一九二三年の広島使徒代
理区設立を機にイエズス会
と交代した。一九五一年か
ら淳心会が教区東部の司牧

に加わり、一九五九年司教
区昇格し、野口司教が着座
した。
来る二〇二三年の教区設
立百周年を前に、「広島教
区百年史(仮称)」の編纂
を進めているが、その中で
皆様方に興味をもって読ん
で頂けるような記事を、今
後随時掲載したい。
(教区百年史編纂委)

広島教区 司祭人事異動 (新任地 ↑ 前任地)

*異動時期はいずれも復活
祭明けから
《イエズス会》
外川直見神父
山口助任 ↑ 教区外

《淳心会》
アンリ神父
倉敷・玉島主任
↑ 倉敷・玉島・水島主任

フレデリック神父
三原主任
↑ 福山・尾道助任
レイモンド神父
倉敷・玉島助任
↑ 倉敷・玉島・水島助任

バート神父
呉主任 ↑ 幟町助任
アルベルト・ジャルト神父
岡山・岡山南助任
(新司祭)

《ミラノ宣教会》
アルベルト・ベツラ神父
翠町主任 ↑ 翠町・呉主任
アルナルド神父
尾道・三次主任
↑ 福山・尾道主任

ヴァインセント神父
教区外へ
↑ 岡山・岡山南助任

《釜山教区司祭》
沈相潤神父
日本語研修・司教館在
↑ 釜山教区

《教区司祭》
瀧井英昭神父
観音町主任
↑ 岡山・岡山南主任
野中泉神父
三篠主任・司教館在
↑ 観音町主任

後藤正史神父
教区外へ ↑ 松江主任
西江和司神父
玉野主任 ↑ 三原主任
服部大介神父
岡山・岡山南主任
↑ 三篠主任

猪口大記神父
福山主任 ↑ 玉野主任
ロイ神父
水島主任
↑ 倉敷・玉島・水島助任
金起煥神父
松江・出雲主任
↑ 三次・出雲主任
久保裕己神父
幟町助任 (新司祭)

地区便り

広島地区

*「平和アピール1981」記念行事 広島地区

去る二月二十三日、広島地区の「平和アピール1981」行事として、女優の高田敏江さんによる「夏の雲は忘れない」の朗読（劇からの抜粋）が、世界平和記念聖堂で行われました。カトリック信者でいらつしやる高田さんは、この劇を女優仲間たちと長年上演し続けてこられました。広島では公立学校での上演もし、生徒も参加して、核兵器のない世界の実現への思いを、世代を超え



高田敏江さんと上垣内寿光さん

て共有されてきました。この日は、上垣内寿光さんによるギターの演奏にあわせて、広島と長崎の被爆者の方、家族や先生たちが残された手記が読まれました。

一行一行、読まれるたびに目の前にあの時の光景が浮かび上がり、自然と手記の書き手と心が一つになるような気持ちになりました。会場からはすすり泣く声が聞こえました。最後に読まれたのは、原民喜の「永遠のみどり」。偶然にも聖霊が建っているこの土地は、原家のものだったとか。死と焔の記憶に よき祈りこもれ…この聖堂からの祈りが全世界に届きますように。

岡山鳥取地区

*「平和アピール1981」記念行事 岡山鳥取地区

二月二十三日、教皇ヨハネ・パウロ二世「平和アピール1981」記念行事を、岡山鳥取地区では講師として中井淳神父様（下関労働教育センター）をむかえ、「教皇フランシスコの平和と思



中井淳神父

想」と題し、津山教会で行われました。

講話は、教皇様の東京ドームでの逸話や来日されたのは東アジアが危ないという神の声を聞いて来られた。神の憐れみと神の手が日本に伸びたと言われまし

た。そして教皇の平和の思想について、教皇に選出された最初の文章をもとに、「イデオロギーより現実」「対立より一致」「部分より全体」「空間より時間」等話してくださいました。

最後に、神の武器は「祈り・忍耐・赦し」ですと言われました。

山口鳥根地区

*「教会に来られない人にどうよびかけていくか」山口鳥根地区福祉部研修会

海峡からの風 56

下関労働教育センターだより

「50年からの学び」

私は、二〇一七年四月から下関労働教育センターの運営委員をしている村岡信慎と申します。福岡市在住ですが、センターの運営に少し携わらせて頂いています。

私はこの労働教育センターに関わり始めてから在日韓国・朝鮮人の方々や韓国人の方々とは会う機会がとても多くなりました。今までの人生の中でこれほど多くの在日の方々や韓国の方々に関わらせて頂いたのは初めてでした。

二〇一九年三月一日、日本統治時代の朝鮮で発生した大日本帝国からの独立運動、三一独立運動から百周年の日に、下関労働教育センターで「三一独立運動百周年に共に学ぼう」というテーマで講師の先生を招き、勉強会を開きました。そこからこの一年間、センターでは韓国・朝鮮に関する「在日一世の聞き書きを読む会」、「あなたの知らない日清戦争」、「強制連行の

場、北九州・筑豊フィールドワーク」、「日韓請求権協定の本当の姿とは」、「韓国併合条約は有効だったのか」などのテーマで講演会や勉強会を開催してきました。

これら講演会や勉強会に参加して、少なからず自分がかに無知で無関心だったのかを思い知らされました。

ある日、韓国人の神父が私に「ミスターサンシャインというドラマを見るといいよ」と勧められて初めて韓国のドラマを見ましたが、ちょうど時代背景がセンターで催されてきたテーマと近く、このドラマを通して、自分の中に今まで知ったことが繋がっていった感じを受けました。そして在日の方々、韓国・朝鮮の方々だけでなく苦しみを体験したのか、更に深まりました。

私はセンターを通して在日の方々との出会い、沢山のことを学んでいます。私は日本人として、またキリスト者として彼らの苦しみと喜びと共に、一緒にこれからも歩んでいきたいと思っています。

(村岡 信慎)

2020年司祭・修道者のダイヤモンド・金祝・銀祝

◆ダイヤモンド祝六十周年◆

《援助マリア修道会》 福山修道院

Sr.森元 良子 一九六〇年 九月二十九日 ポストラント

Sr.佐藤 満子 一九六〇年 九月二十九日 ポストラント

《聖マリア在俗会》

岩藤 多賀子 一九六〇年 三月二十五日 誓願宣立

◆金祝五十周年◆

《イエズス会》 山口教会

Fr.百瀬 文晃 一九七〇年 七月二十五日 叙階

《カルメル修道会》 教会の母マリア修道院

Sr.高原 久枝 一九七〇年 十一月一日 初誓願

《援助修道会》 下関共同体

Sr.小野島照子 一九七〇年 九月六日 初誓願

《援助マリア修道会》 福山修道院

Sr.池田多喜江 一九七〇年 三月二十九日 ノビシヤ

Sr.渡辺アイ子 一九七〇年 三月二十九日 ノビシヤ

《メルセス宣教修道女会》 廿日市修道院

Sr.尾崎 越子 一九七〇年 三月一日 初誓願

《聖マリア在俗会》

村口 篤子 一九七〇年 三月二十一日 誓願宣立

◆銀祝二十五周年◆

《カルメル修道会》 教会の母マリア修道院

Sr.武井 瑞代 一九九五年 十二月八日 初誓願

二月八日宇部教会で、お二人の神父様に講話をしていただきました。片柳神父様は、教皇様の「祈りのまなざし」「キリスト教徒の病者訪問〜マザーテレサ〜にならって」というタイトルでの講話をされました。中でも、自分の生きる意味、存在意義をみいだせない苦しみは、最もつらいということ。その苦しみのあ

る方とどう寄り添い、痛みを共有していくか、などパウフルにお話していただきました。オレギ神父様は、実際病人訪問してきたエピソードを、失敗談を含めながら温かくお話しされ、「識別」の大切さを伝えていただきました。百人以上の参加者と分かち合いもでき、心から感謝の一日でした。

J-CARM(広島便り)

岡山鳥取地区における外国人

ペトロ・ホアンドウク・ロイ神父

最近、日本は社会においても、教会においてもたくさん外国人をむかえています。平日に会社で働き、日曜日に休みの日なので、カトリック信者が教会に来てミサにあずかります。ミサではたくさん外国人の姿を見て、多言語で祈りを通して神の家族となつていきます。

国際ミサの時にそれぞれ国の文化をお互いに交流することも出来るようになって来ました。文化・習慣・言語は違いますが、すべてを乗り越えて、信仰のうちにわたしたちキリスト者が、キリストにおいて一つとなるように招かれています。

教会はあらゆる世代の人々が、地域、生活習慣、文化の違いを超えて、互いの相違を包容していくべき共同体で、互いの違いから生じる痛みを体験することにより、共同体として回心の機会が与えられます。この回心を伴う関わりによって、教会共同体は多様性による豊かさを身につけることができるのです。こ

のような違いを通して生きようと努力することは、共に生きる新しい社会、文化を生み出すことになるでしょう。

カトリック教会にとつて、誰もがキリストにおける兄弟姉妹なのです。日本の教会は、神の家族として、難民移住移動者と共に教会を作り、さまざまな違いを越えて、ひとつの共同体をつくり上げていく努力により、普遍的な教会を社会に証することができるようです。更に、異なる国籍の人々との出会いを通して、新しい人間性を築いていく神の国を証していきます。

広島教会が、多国籍・多文化の共同体であることを証できるように更に努力していく教会となるように働きかけ、声を掛け合っています。外国人は国籍に関わることなく小教区の一員であるので、互いのコミュニケーションをとるように招かれています。また、永住権を持ち、長年日本に住む者が共同体を共に作っていく責任があるので、できるだけ小教区に籍を置くことができるよう呼びかけています。

特に、岡山鳥取地区におい

て小教区の日本語ミサの中で、聖書朗読と共同祈願を行うことが出来るように、努力をしています。そして今、各小教区で日本語教室を開き、共に日本語・日本の文化・習慣などを勉強しています。具体的には岡山教会、倉敷教会、玉野教会、水島教会、津山教会で日本語教室を開き多くの外国籍の人々が参加しています。更に、教会に来られない人たちはネットで(フェイスブック、ユーチューブ)で日本語を学んでいる者もいます。

このような現状で、広島教区では国際共同体として、多言語、多文化であることを証しています。現在、外国人の若者が増えて来て、広島のカトリック教会に新たな風として広島教区の人たちは強く感じていることと思えます。

多くの外国籍の人々を、これらしっかり受け入れ、共に祈り、共に働き、共に喜びと希望を分かち合う共同体づくりに努力をしていくつもりです。どうか、これからもよろしくお願ひします。

青少年の活動
Japan Youth Day



静岡県で行われる全国カトリック青年大会が、一年延期されることになりました。一年後の二〇二一年五月二日〜五日の三泊四日で行われる予定です。

申し込みはこちらから
右記QRコードからご応募ください

内容が濃く盛沢山！
原生林ハイキングにキャン
プファイヤー！

プログラムは全部で九個！
私たちの神さまに心を向け、同じ希みを分かち合える仲間たちと、楽しく温かなときを過ごしませんか？
人生最高のゴールデンウィークが待っているはず！

ネットワークミーティング

第三九回目のネットワークミーティングは、新潟で行われます。
日程は九月十九日(土)・二十日(日)の二日間、テーマ「じよんのびせんまいけ」は、新潟弁の「じよんのび」と富山弁の「せんまいけ」を掛け合わせており、



「のんびりしませんか？」という意味があります。忙しい毎日で心に余裕が持てない、疲れてしまっている人も多いと思います。

今回のネットワークミーティングはそんな日々の疲れを癒して「じよんのび」することを目的に行っていきたいと思えます。

じよんのびでできるネットワークミーティングをお届けできたらと思います。スタッフ一同お待ちしております。

(代表 今井萌生)



神の真心に従う・・・

フィリピン宣教会
リカルド 神父

教会の奉仕は誰でもしなければなりません。洗礼によつてあなたたちは神の宣教を分かち合っています。だからこそ、この使命は私たちの召命でもあります。いつも奉仕には人間関係が表れると思います。「自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるうか。徴税人でも、同じことをしているではないか。自分の兄弟にだけあいさつしたと

ここで、どんな優れた事になろうか、異邦人でさえ、同じことをしているではないか」(マタイ五・四十六―四十七)。それでは、神への奉仕は人類への奉仕でもあります。

今年、私は司祭叙階の二十周年記念日を迎えます。司祭としての生活にはいろいろなチャレンジがありました。そして、私は教会の僕ですから、一所懸命、教会のために奉仕しています。たしかに、聖職は全ての事を神に委ねます。イエス・キリストが「私に来て従いなさい」(マタイ四・十九)。イエス・キリストに従うことは神の恵みに信頼するという意味です。

この世の旅でいろいろの経験をしめます。良いこともあれば悪いこともあります。どちらの道を選びましょうか。正しく決めるように神の教えを学びましょう。聖書が伝える所とは神様の国です。つまり、それは天国です。私たちはそちらへ向かって旅をするように頑張らしましょう。きっと誕生から死まで私たちは人生の意味と目的を悟ってくるだろうとおもいます。

「神よ、あなたに安らぐまで、私の心は落ち着きません」と聖アグ

その上で、イエス・キリストの掟「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くしてあなたの神である主を愛



「神よ、あなたに安らぐまで、私の心は落ち着きません」と聖アグ

その上で、イエス・キリストの掟「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くしてあなたの神である主を愛

人生は短いですが、良い行いをしましょう。永遠の命のため、神の道へ頑張つて歩きましょう。キリストの光を人々に輝かせるように。その光を心に燃えさせたせ、守りましょう。



新型コロナウイルスが猛威をふるっている。ミサにかけていいものかどうか。そんな中、司祭、助祭叙階式があった。喜びに溢れる笑顔がたくさん。早く沈黙化し、世界中に笑顔がもどりますように。(かぴ)